

関市武芸川町「かたくりの里」に東屋が完成！

森の中、咲き乱れるカタクリの花、そこに舞う春の妖精ギフチョウで人気急上昇のスポット、関市武芸川町宇多院の「かたくりの里」に東屋が完成し令和6年11月16日（土）に除幕式を開催しました。

この施設は、地元の「一色保木山カタクリの里保存会」が、県の森林空間施設整備促進事業（森林・環境税）を活用して整備されました。

保存会では、これまでもカタクリやギフチョウの保護活動、地元保育園や小中学校の環境教育の場としての活用、出前講座などの取り組みを実施されてきましたが、今回の施設整備で、訪れた方の休憩や情報交換の場としての活用、保存会の活動拠点として取り組みがさらに進むことが期待されます。

なお、東屋は、地元武芸川中学校の生徒から案を募集して「むげん亭」と命名されました。



保存会提供

関市長、県森連副会長、武芸川中学校長、命名者の生徒さんらによる除幕式